

【洛西中学校】平成29年度学校評価(前期)結果について

○目指す子ども像(共通) 主体的に学び、互いに思いやり、認め合い、助け合う児童生徒
 重点目標(児童生徒の共通する課題より) (1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動の充実”～聞き取る・読み取る・伝え合う。(2) 自己有用感や自己肯定感を獲得させることにより自尊感情を高める。
 ○洛西中学校めざす生徒像 1. 主体的に学び・行動できる生徒 2. 何事にも一生懸命に頑張る、粘り強い生徒 3. 思いやり、認め合い、助け合う生徒

※単位は%

質問項目	
①	学習したことを理解し、基礎的・基本的な学力を身に付けていると思いますか。
②	自分の意見や考えを進んで伝えることができますか。
③	人の意見や考えをしっかりと聞くことができますか。
④	自分の意見や考えをわかりやすく書くことができますか。
⑤	すすんで読書をしていますか。
⑥	忘れ物をせずに、学習の準備をすることができますか。
⑦	毎日時間を決めて、家庭学習をしていますか。
⑧	先生の授業は、わかりやすいですか。
⑨	先生は、授業や学校生活の中で、自分のがんばったことを認めてくれていますか。
⑩	学校に楽しく通うことができますか。
⑪	学校で、先生や友達から大切にされていると思いますか。
⑫	地域の人や先生、友だち等に、きちんとあいさつができていますか。
⑬	早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が送れていますか。
⑭	自分に良いところがあると思いますか。
⑮	学校のきまりや地域でのマナーを守ることができると思いますか。
⑯	学校の取組を通じて、豊かな心をはぐくんでいると思いますか。
⑰	学校・学年・学級だよりや、学校のお知らせプリントなど、お家の人に見せていますか。
⑱	先生にわからないことや悩みごとを相談していますか。
⑲	お家の人に、学校のできごとについて話をしていますか。
⑳	行事や参観、懇談会等に家の人が来てくれることを楽しみにしていますか。
㉑	お家の人や先生から、ほめられることがありますか。
㉒	地域の方との交流や地域・PTAの行事を、楽しみにしていますか。

確かな学力

豊かな心・健やかな体

学校・家庭・地域との連携

生徒

1	22	62		
2	16	46		
3	31	60		
4	16	52		
5	28	28		
6	25	53		
7	10	35		
8	21	65		
9	21	57		
10	37	51		
11	26	65		
12	36	52		
13	29	43		
14	17	49		
15	23	67		
16	21	60		
17	41	46		
18	19	38		
19	35	40		
20	10	38		
21	28	51		
22	13	39		

保護者・学校運営協議会

1	17	60		
2	14	56		
3	22	61		
4	10	54		
5	13	28		
6	23	52		
7	15	32		
8	19	60		
9	22	65		
10	30	56		
11	34	58		
12	29	55		
13	18	51		
14	13	52		
15	18	74		
16	17	68		
17	27	59		
18	21	52		
19	31	52		
20	15	44		
21	21	58		
22	14	56		

	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		空白	
	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人
①	22	17	62	60	15	17	1	4	0	1
②	16	14	46	56	34	25	4	4	0	1
③	31	22	60	61	9	13	0	2	0	1
④	16	10	52	54	29	29	4	5	0	2
⑤	28	13	28	28	30	35	14	23	0	2
⑥	25	23	53	52	20	18	2	5	0	1
⑦	10	15	35	32	41	33	14	18	0	1
⑧	21	19	65	60	13	20	2	1	1	1
⑨	21	22	57	65	18	11	4	2	0	1
⑩	37	30	51	56	10	9	2	4	0	1
⑪	26	34	65	58	8	7	1	1	0	1
⑫	36	29	52	55	11	15	0	1	0	0
⑬	29	18	43	51	23	21	5	10	0	0
⑭	17	13	49	52	24	28	10	6	0	0
⑮	23	18	67	74	8	7	2	1	0	0
⑯	21	17	60	68	19	13	1	2	0	1
⑰	41	27	46	59	10	10	2	3	2	2
⑱	19	21	38	52	31	20	10	5	2	2
⑲	35	31	40	52	19	13	4	3	2	2
⑳	10	15	38	44	29	23	23	17	2	2
㉑	28	21	51	58	18	17	2	3	2	2
㉒	13	14	39	56	29	19	17	9	2	2

そう思う 大体そう思う あまり 思わない

そう思う 大体そう思う あまり 思わない 空白

「確かな学力」(アンケート番号①～⑨)

1期に実施された、中1ジョイントプログラムや2年生、3年生の学習確認プログラムの結果を見ると、1年生では国語が全市平均より3ポイントマイナスでしたが、数学が全市と肩を並べる状況でした。2年生は、概ね全市平均と同等でした。また3年生は実施時期があまり良くなかったこともあってか、全市平均より6ポイントほど下回っていました。とくにどの学年も数学が伸び悩んでいある傾向にあり、基礎、基本の繰り返しが重要だと考えます。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
 ☆アンケート①「基礎・基本」の結果についておおむね良好であるものの、各種調査では基礎基本的な事項等の理解不足、訓練不足がみられる。⑧⑨「授業」については肯定的にとらえているが、新学習指導要領の完全実施に向けて、基礎基本の訓練と共に、他者との関わりの中で、より深い学びに向かう授業の展開を創造する必要がある。

② 表現力の向上
 ☆アンケート②④「意見発信」の項目(自分の意見や考えを「伝える」「書く」)については、生徒・大人ともに課題があると捉えている。また、アンケート⑤の「読書」の項目の結果も気になるところである。じっくりと一人で考えることを基本として、仲間とのつながりの中で、自らの考えを深め、しっかりと定着させる授業での場面を意図的に作る必要がある。小中が連携して改善のための取組を進めていきたい。

③ 家庭学習の習慣化
 ☆アンケート⑦「家庭学習」の項目について、全国学力状況調査質問結果からも、テレビ・ゲームやスマホ・携帯電話に費やす時間が多く、家庭学習の時間に影響が見られる。単に宿題を出すという形から、家庭での学習の方法を身に付けさせるための方策を模索する必要がある。

「豊かな心・健やかな体」(アンケート番号⑩～⑱)

アンケートの結果より、概ね肯定的な意見であるが、項目毎に見ると、課題が見られる部分がある。

① 豊かな心の育成
 ☆アンケート⑭「自分によい所がある」について低い結果である。全国調査で“ある”と答えた生徒は12.52%と全国のおよそ半分以下であり、仲間との繋がりの中で自己有用感を育て、自尊感情を高めていく必要性を強く感じる。

② 基本的生活習慣の確立
 ☆アンケート⑬「早寝早起き朝ごはん」について、約3割の生徒が「できていない」と答えている。また全国調査からも、約5割の生徒が、平日に2時間以上パソコンやスマートフォン、携帯電話を触ると答え、その中でも4時間以上と答えた生徒は約20%となっている。このことが基本的生活習慣に大きな影響を与えていると思われ、生徒・保護者への啓発や保護者との連携が必要である。

③ 学校の取組で、豊かな心を育てているか。
 ☆アンケートでは、この項目に肯定的な回答をした生徒が8割を超え、同様に保護者からも8割が肯定的な回答であった。しかし、全国調査で「難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか」や「学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがありますか」の質問は、全国や京都府の平均から、約20ポイント下回る結果が出ている。日頃の学習や部活動、学級活動などで、簡単にあきらめたり、関わりから遠ざかったりする傾向がみられる。その反面「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問では、全国や府の平均同様、約9割が肯定的な回答を示している。生徒の心の内を揺さぶり、目標に向かって努力し続けたり、仲間と協力してやり遂げる成就感を味あわせることで、自尊感情を高め、将来の自らの夢に向かって歩き続ける生徒の育成を目指したい。

「学校・家庭・地域との連携」(アンケート番号⑲～㉒)

思春期の真っ只中である生徒にとって、⑱や⑲といったアンケートが低くなっていることが予想される。

① 開かれた学校づくり
 ☆アンケート⑲「地域交流」について、生徒の意識は低い。全国調査でも同様の質問があり、全国や京都府の平均より20ポイントほど下回っている状況にある。生徒自身が社会と繋がり、社会に貢献する大人となっていくためには、生徒自身が身の回りの大人たちに支えられている、大人たちと繋がっている、関わりがあるといった実感を得られることが大切ではないかと考えている。

② 子どもの良いところを見つけ、ほめること
 ☆アンケート⑱「先生に相談」⑲「ほめられる(ほめる)」⑲「保護者来校」について、生徒と大人の差が大きい。家庭・学校が協力し、子どもとていねいに接すること、子どもたちのことを認め、ほめることで、子どもたちの自信へつなげることができるよう、はたらきかけていくことが大切である。